

# 決算説明資料

2019年3月期 第2四半期

インヴァスト証券株式会社

# 四半期決算概要 (2018.7~9)

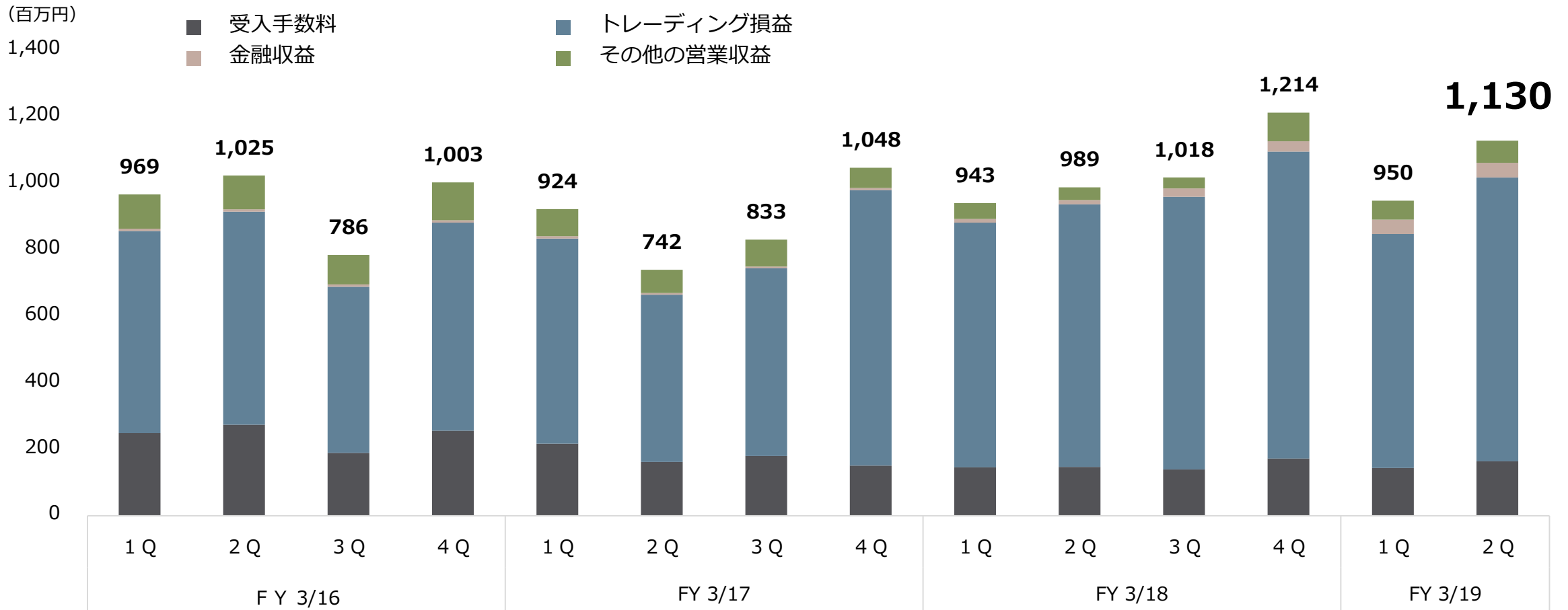
## 第2四半期決算 業績サマリー

単位：百万円	2018年3月期 2 Q (2017.7-9)	2019年3月期 2 Q (2018.7-9)	対前年同期 増減率
営業収益	989	1,130	+14.3%
純営業収益	981	1,093	+11.5%
営業利益	112	171	+52.8%
経常利益	108	162	+49.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	101	123	+21.4%

# 営業収益の内訳

## 営業収益は、前年同期比+14.3%の11億30百万円

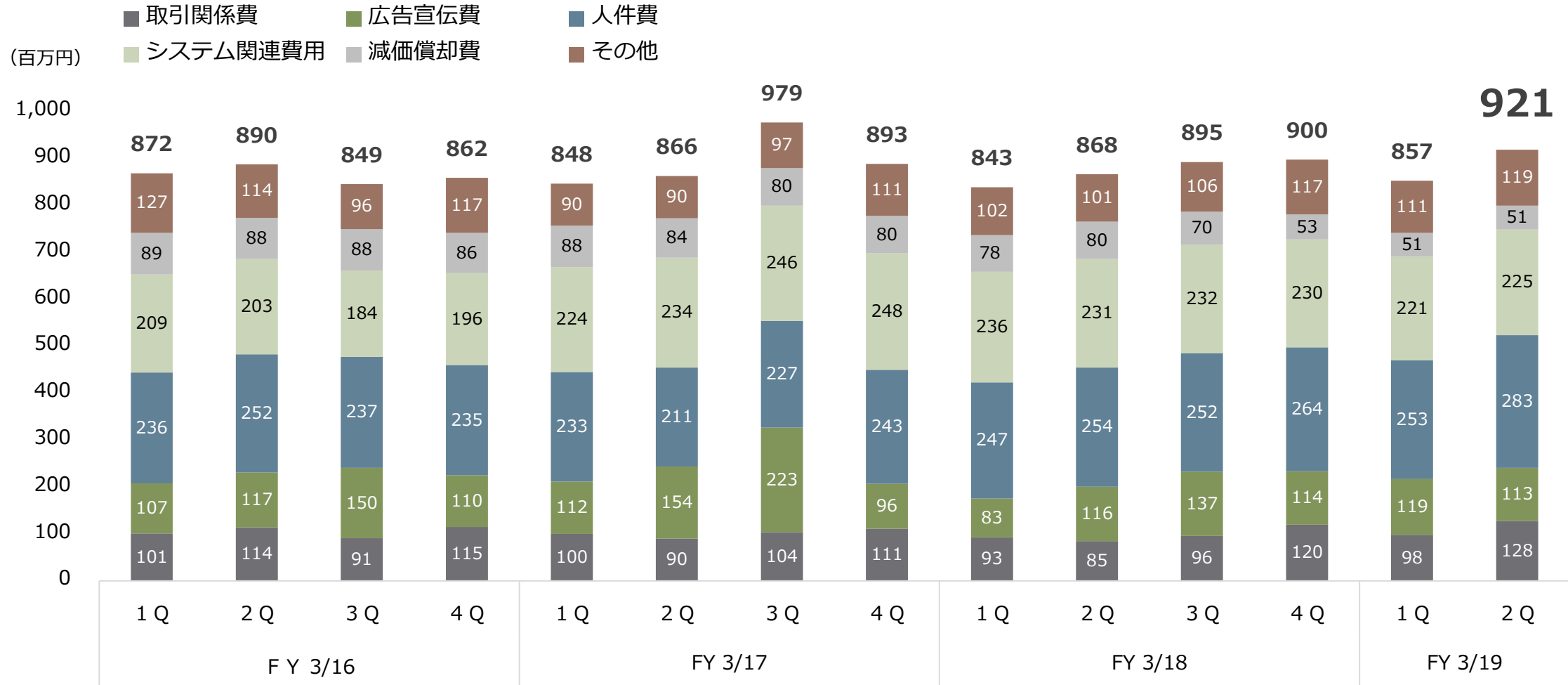
店頭FX・CFD事業が好調に推移し、トレーディング損益は、前年同期比+8.0%の8億54百万円、  
受入手数料は、前年同期比+12.0%の1億64百万円



# 販売費・一般管理費の内訳

## 販売費・一般管理費は、前年同期比+6.1%の9億21百万円

取引関係費の増加、子会社の人員採用による人件費増加等が主な要因

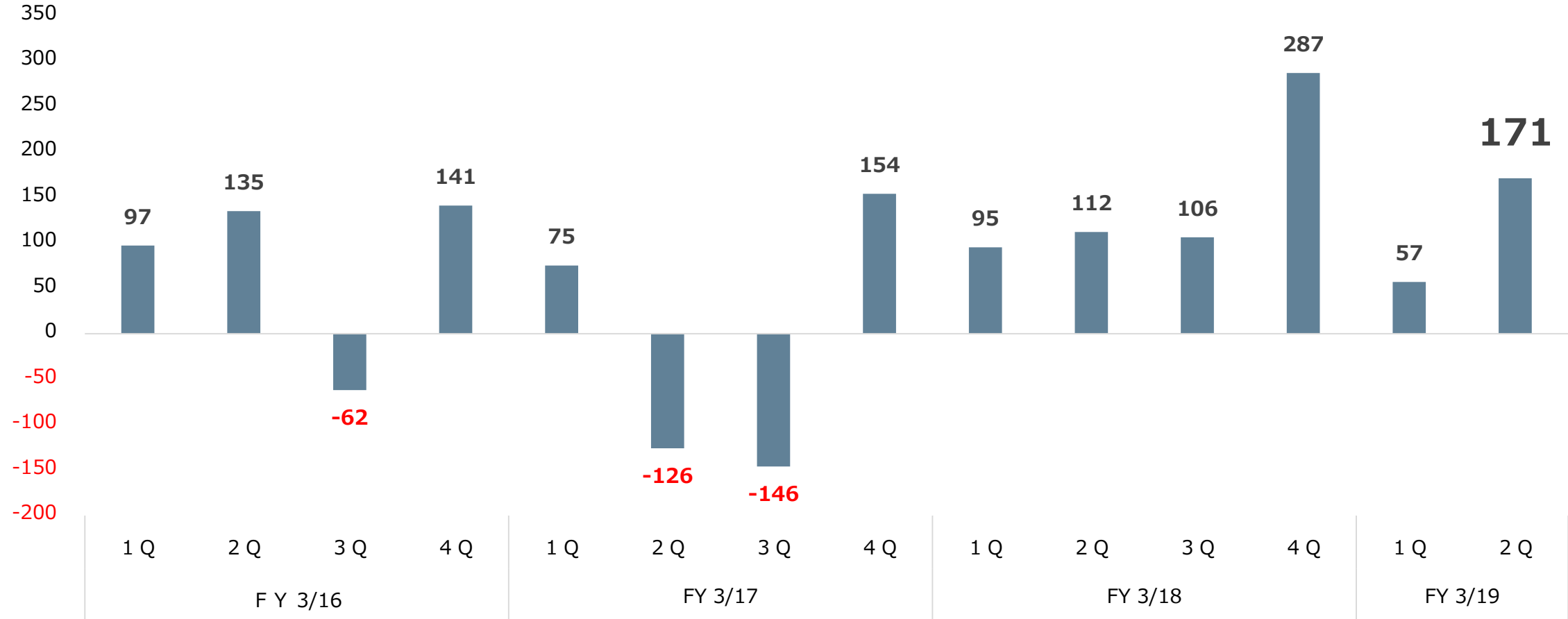


# 営業利益推移

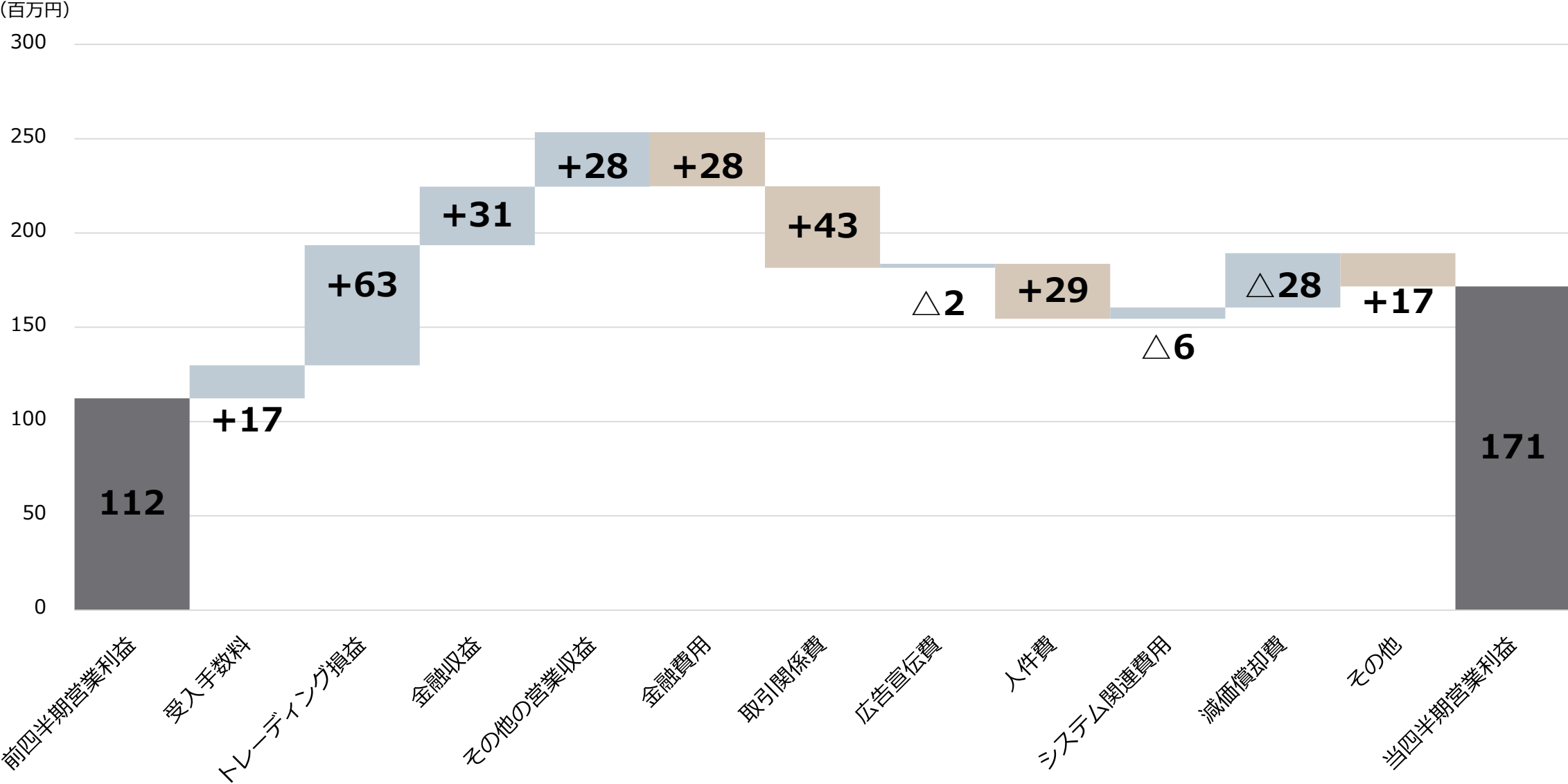
## 営業利益は、前年同期比+52.8%の1億71百万円

トライオートFX・ETF事業における集客施策が奏功、IFSも好業績を継続

(百万円)



# 営業利益増減（前年7-9月比）



# 半期決算概要 (2018.4~9)

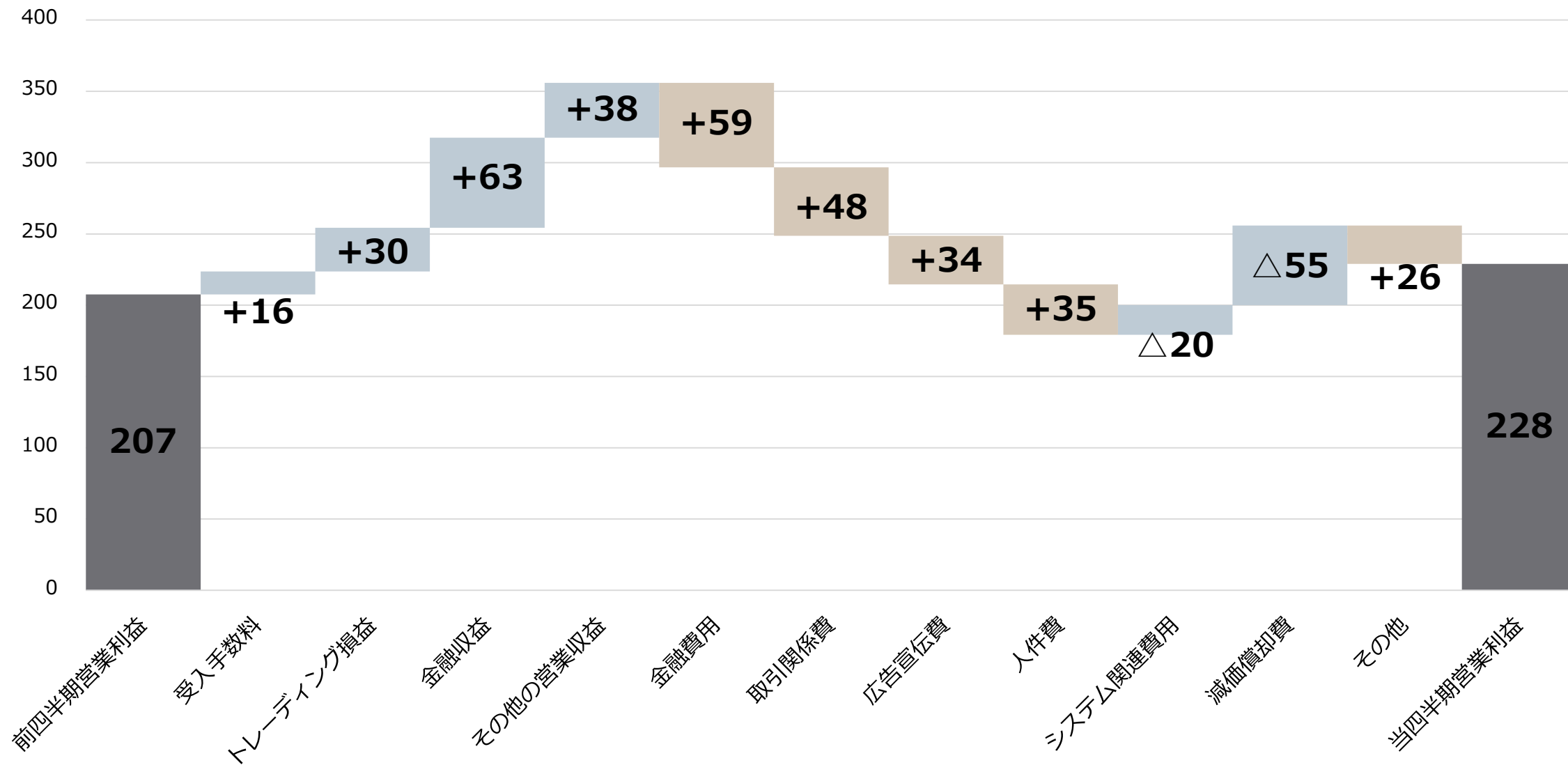


# 半期決算 業績サマリー

単位：百万円	2018年3月期 2 Q (2017.4-9)	2019年3月期 2 Q (2018.4-9)	対前年同期 増減率
営業収益	1,932	2,080	+7.7%
純営業収益	1,919	2,008	+4.6%
営業利益	207	228	+10.3%
経常利益	207	235	+13.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	195	192	△1.9%

# 営業利益増減（前年4-9月比）

(百万円)



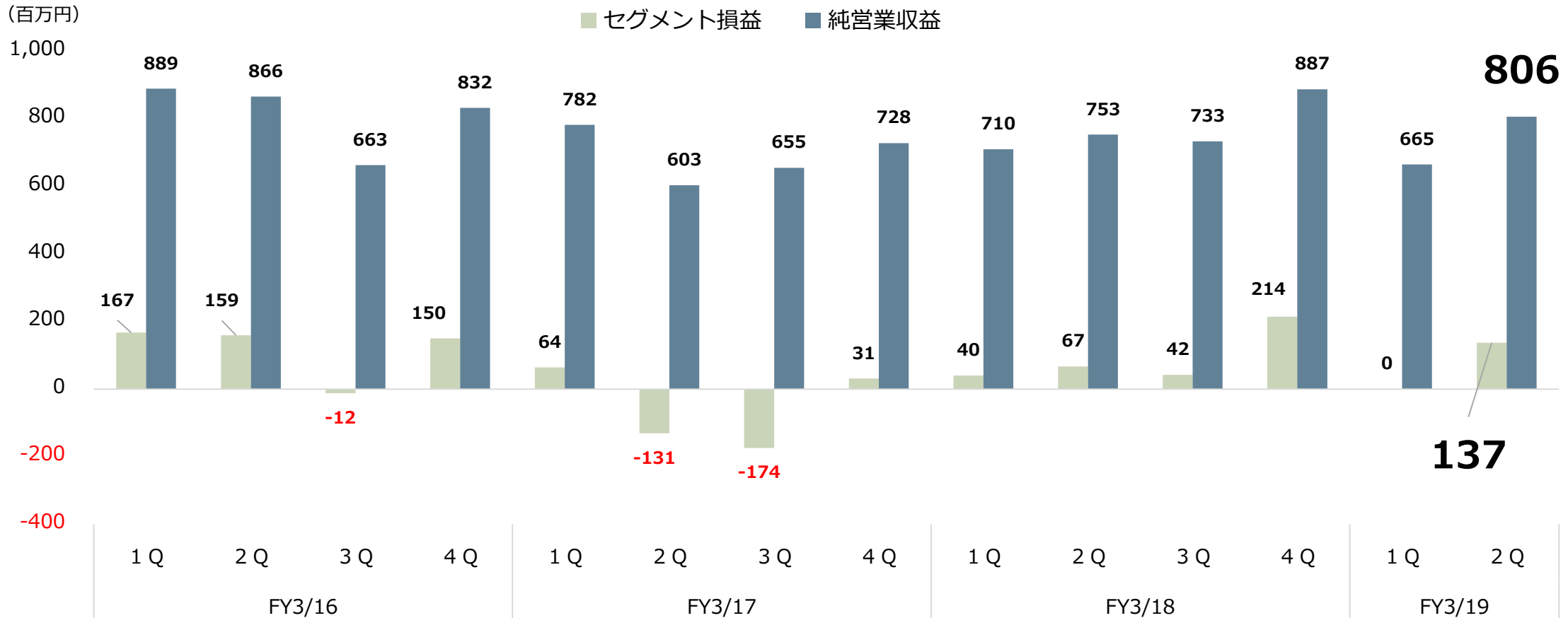
# セグメント情報

## 国内金融事業

# 国内金融事業

純営業収益は、前年同期比+7.0%の8億6百万円

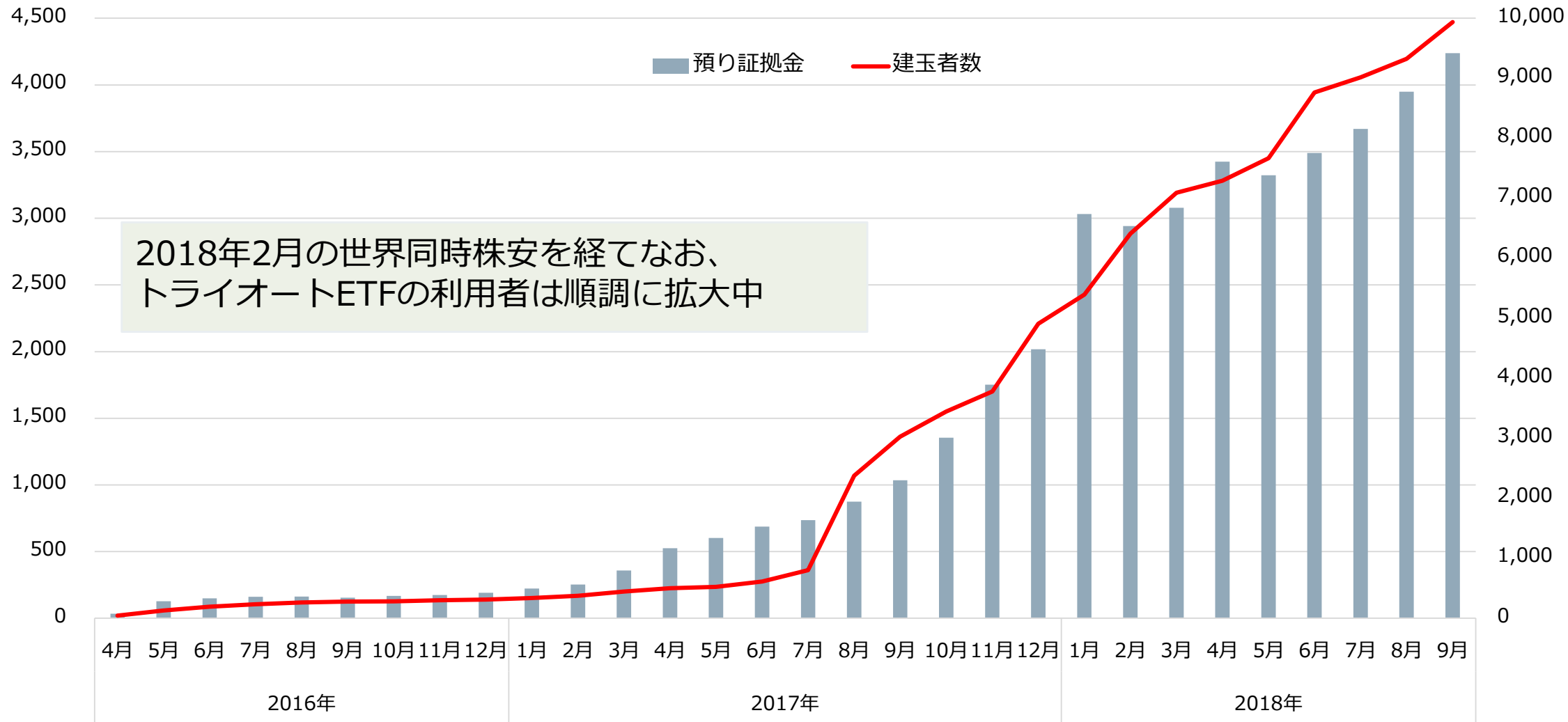
セグメント利益は、前年同期比+103.3%の1億37百万円



# 【店頭CFD】 預り証拠金・建玉者数

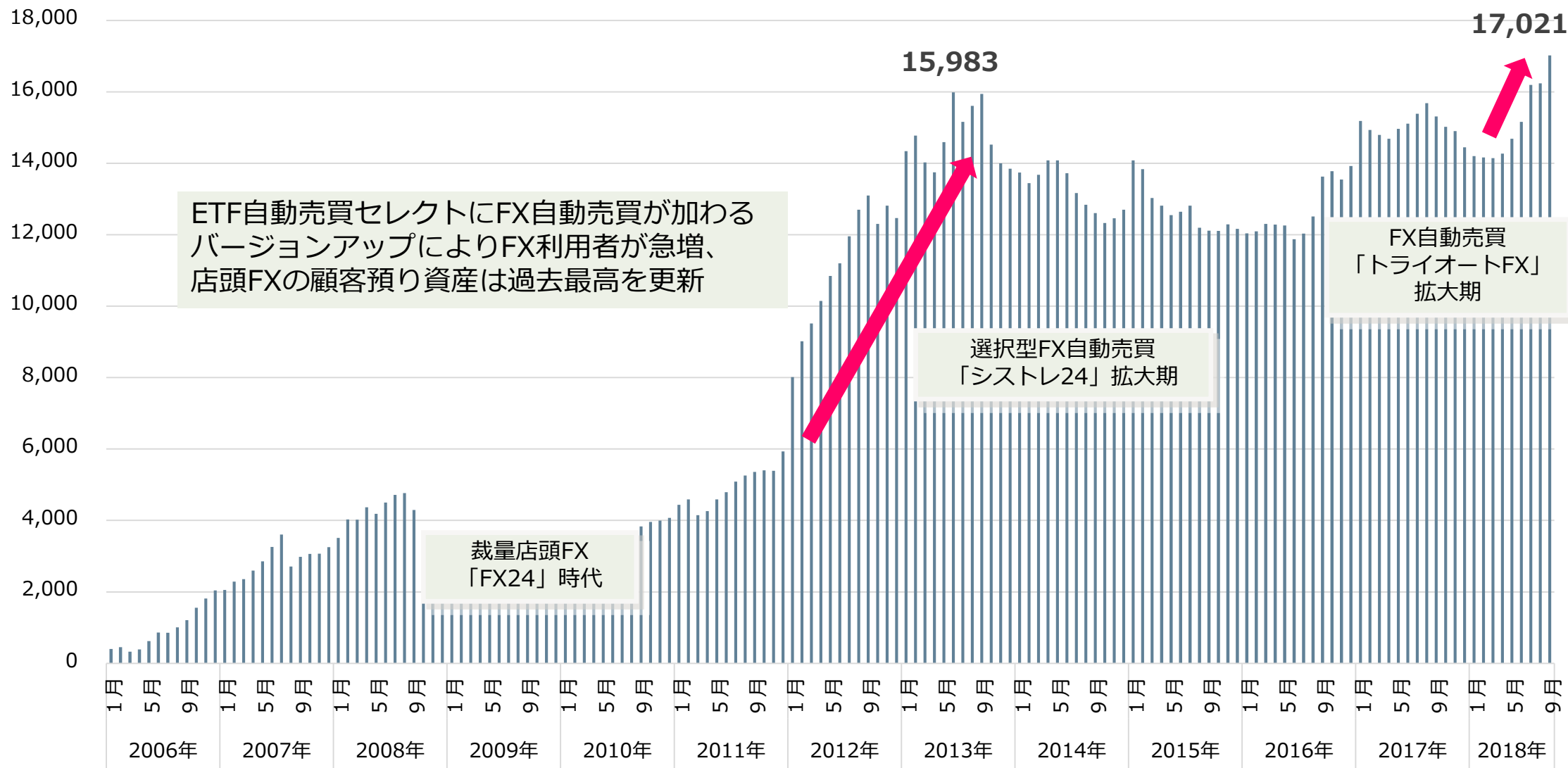
(預り証拠金：百万円)

(建玉者数：人)



# 【店頭FX】 預り証拠金

(百万円)



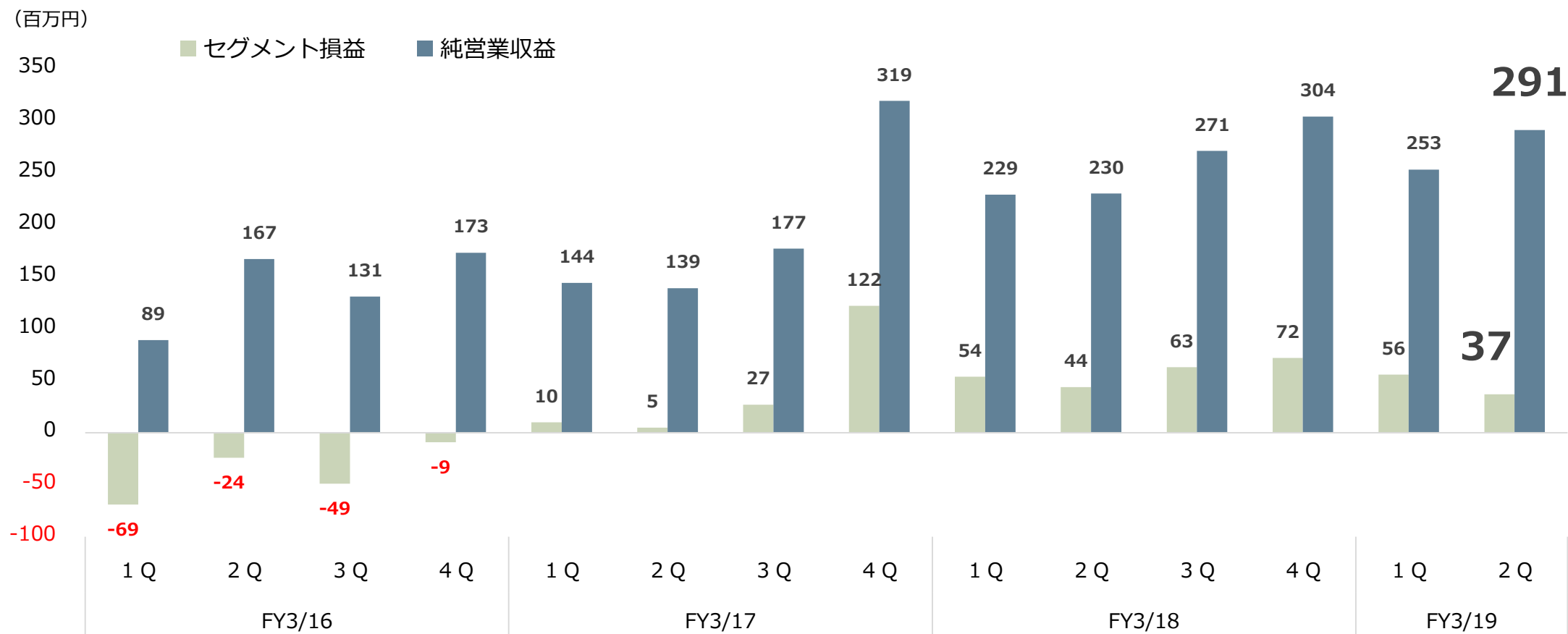
# セグメント情報

## 海外金融事業

# 海外金融事業

純営業収益は、前年同期比+26.5%の2億91百万円

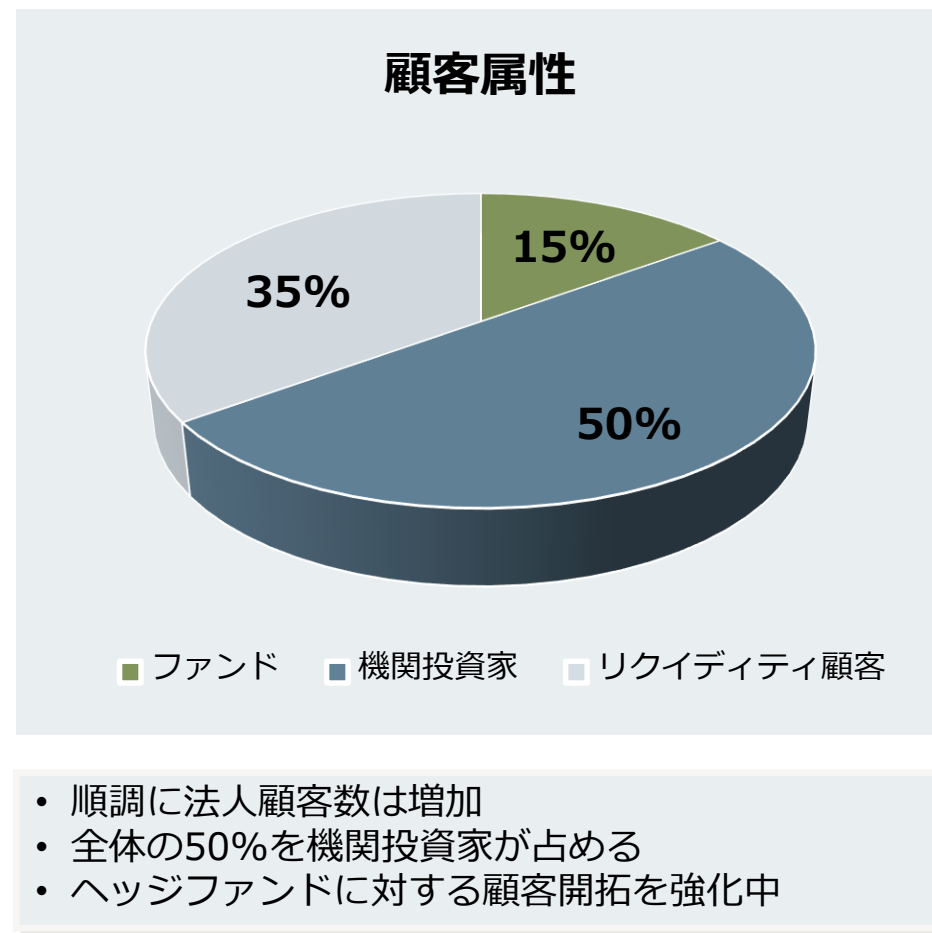
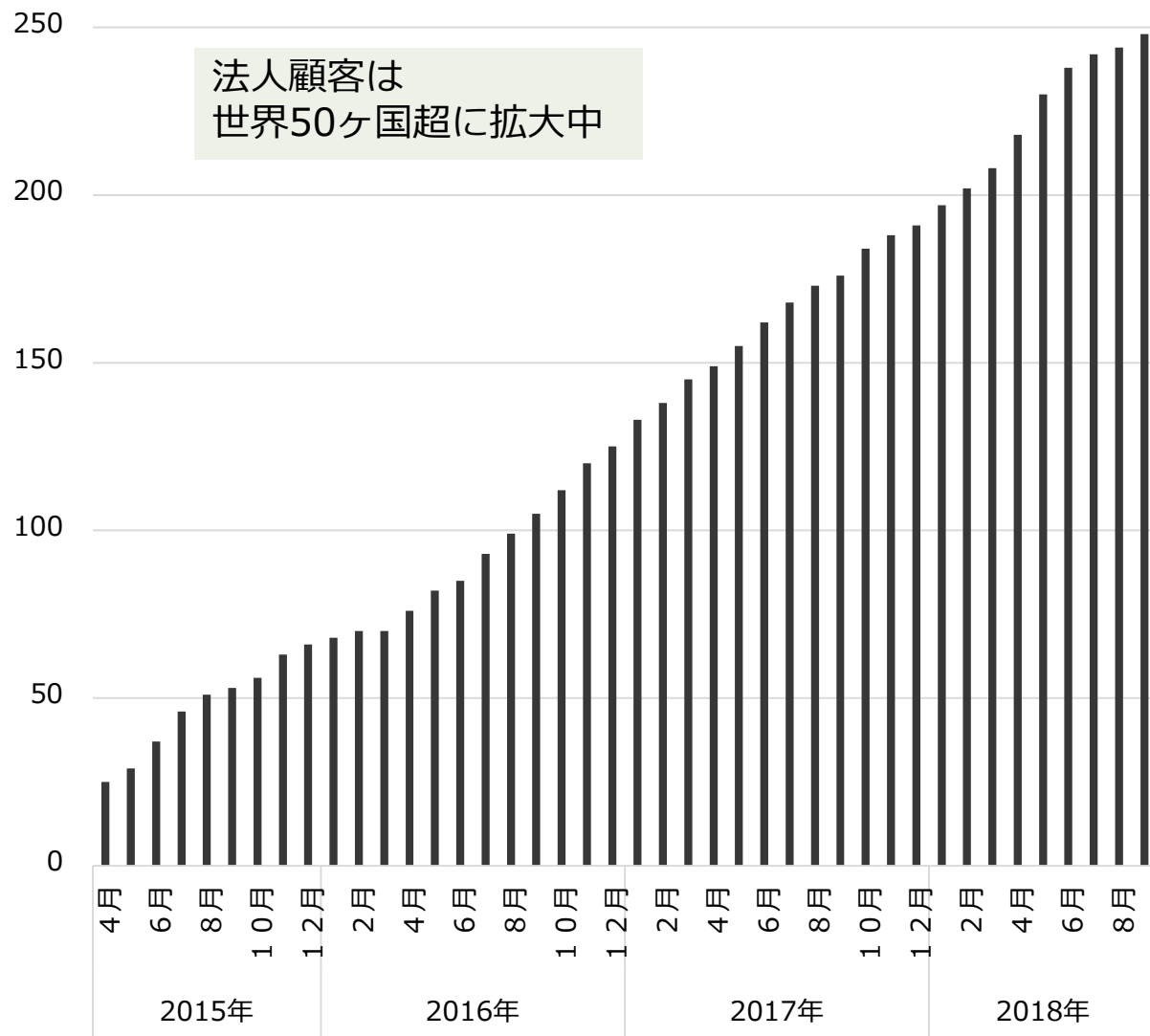
セグメント利益は、前年同期比△17.3%の37百万円





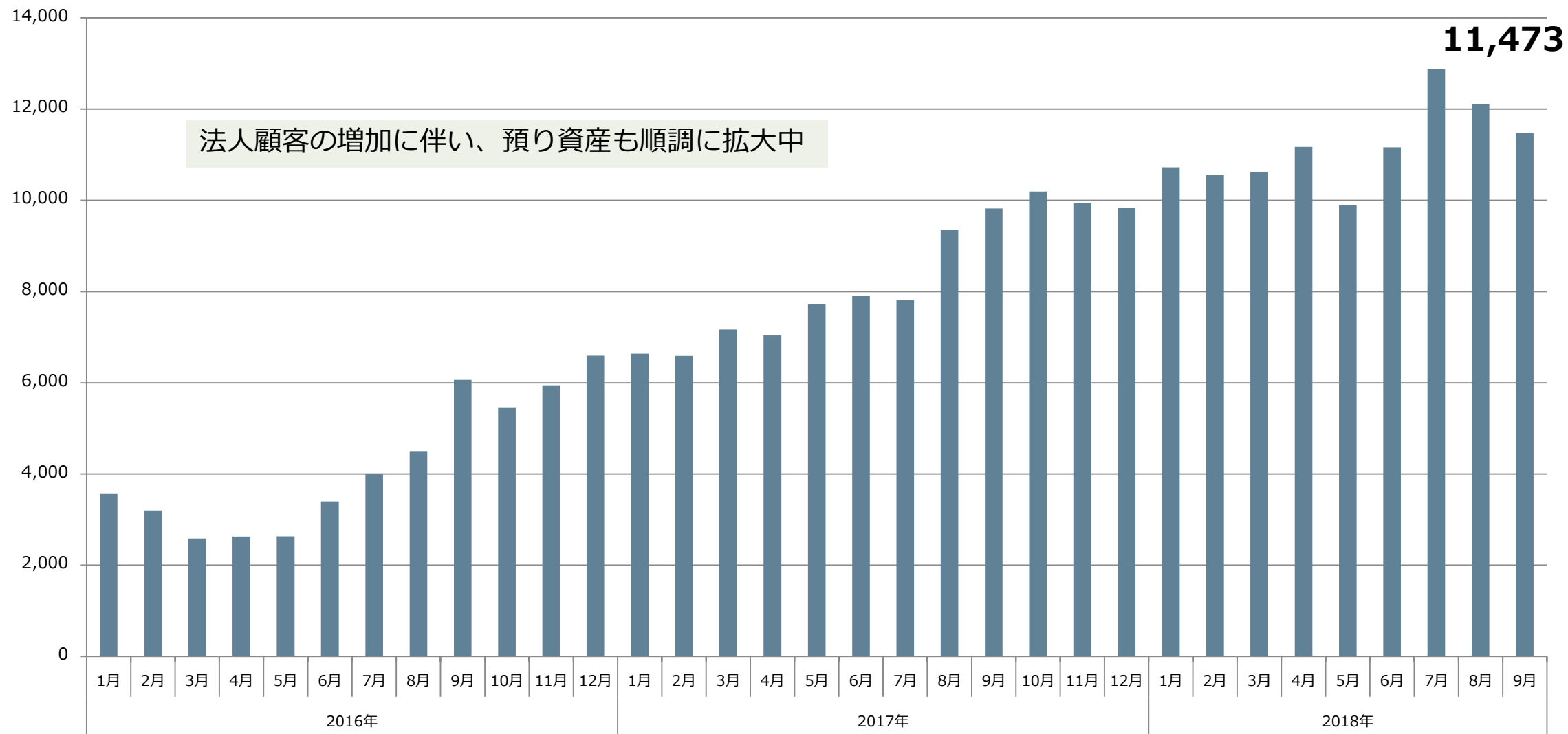
# 【IFS】法人顧客推移

(法人)



# 【IFS】 預り資産推移

(万豪ドル)



# 經營目標・株主還元

# 重視する経営指標

当社グループは、収益の源泉であり、「お客様からの信頼の証」である**顧客口座数**、**預り証拠金**に加え、グループ全体の事業活動の成果を示す**連結経常利益**を重要視しております。また、企業価値の向上を目指し、株主資本を有効活用することが重要であるという認識のもと、**株主資本利益率（ROE）**を重要な経営指標として位置づけております。

	2018年3月期				2019年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
経常利益（百万円）	98	108	91	276	72	162		

## 国内金融事業

**預り証拠金：71,621百万円**

**顧客口座数：568,106口座**

2018年9月末現在

※顧客口座数は、当社の累計開設口座数です。当社では、同一顧客による複数サービスの同時口座開設が可能となっており、サービス毎に1口座として集計しております。

## 海外金融事業

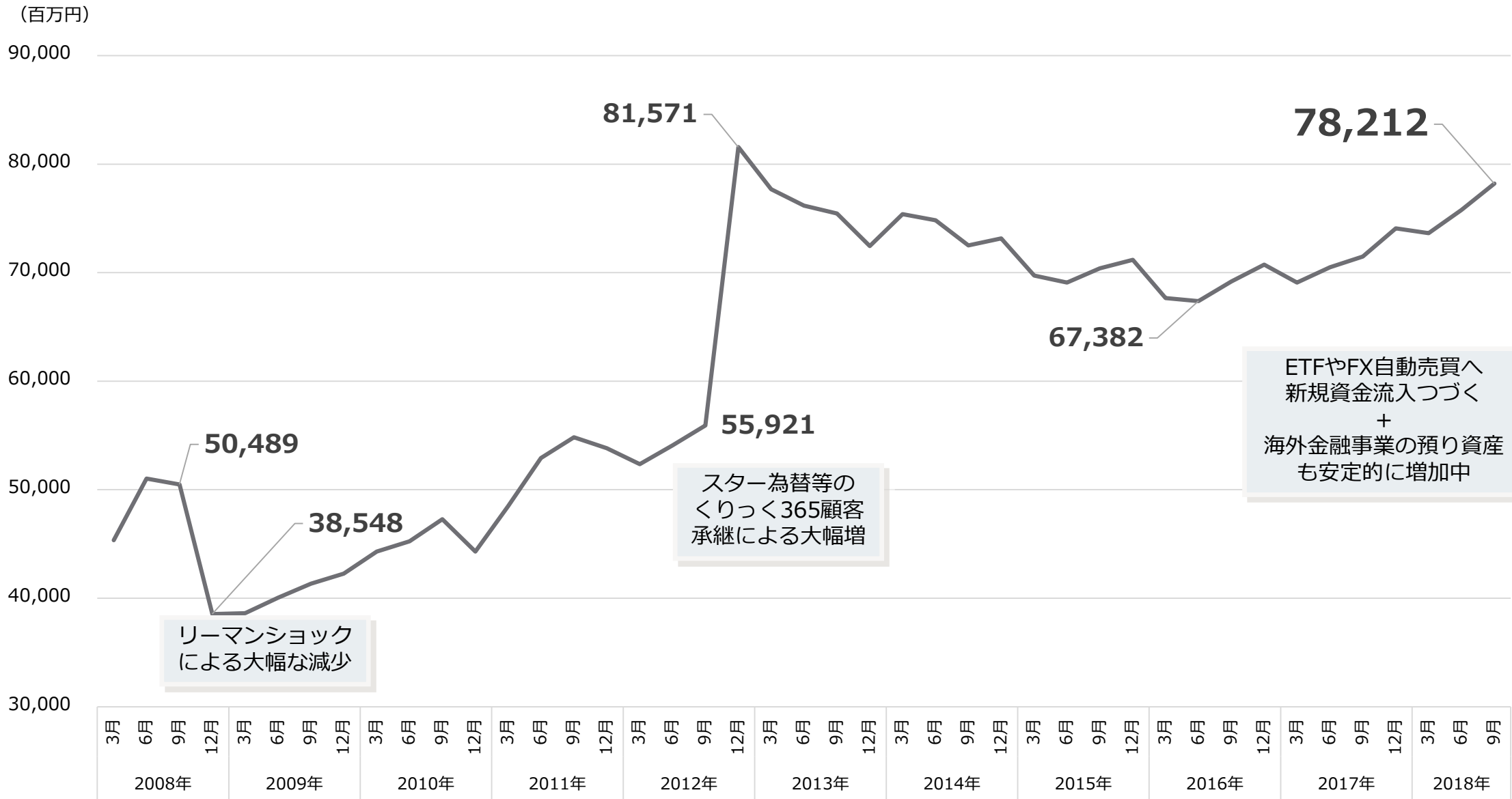
**預り証拠金：11,473万豪ドル**

2018年9月末現在

	2018年3月期				2019年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ROE（%）	3.7	3.8	4.1	5.8	2.6	3.6		

※ROEは、四半期純利益を年換算して算出しております。

# 【連結】 預り証拠金推移



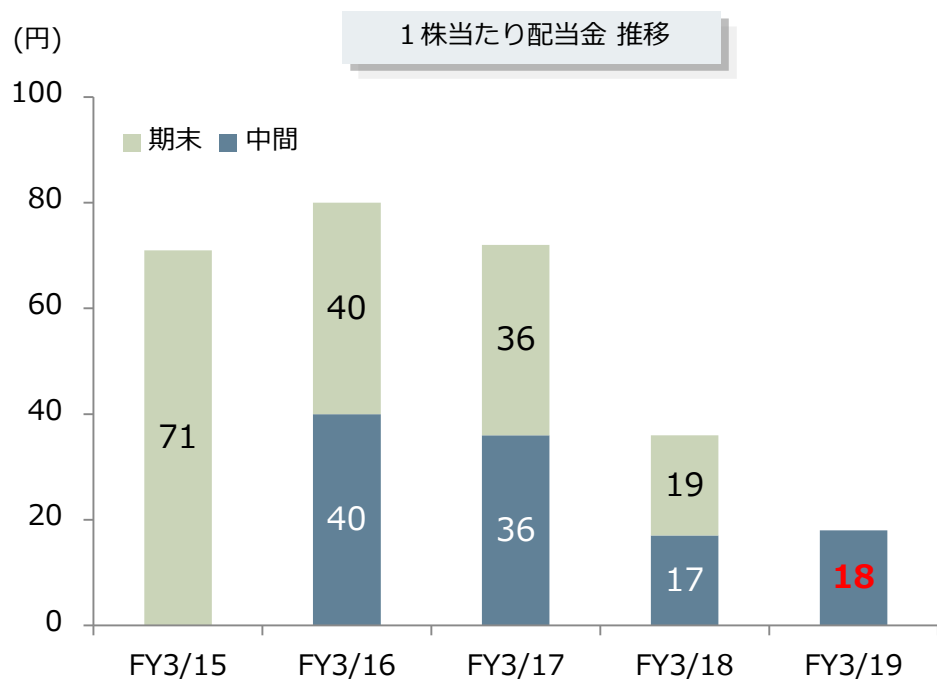
# 株主還元

## ◆配当方針（2018年3月期以降）

連結配当性向30%または連結純資産配当率（DOE）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の配当を実施

## ◆2019年3月期 配当

中間配当 **18円** 期末配当 **未定**



## ◆配当の実績

決算期		15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期	19/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	0.0	40.0	36.0	17.0	18.0
	期末	71.0	40.0	36.0	19.0	未定
	合計	71.0	80.0	72.0	36.0	未定
当期純利益 (百万円)		496	△404	△118	597	
配当総額 (百万円)		416	469	422	211	
配当性向 (%)		83.4	—	—	35.4	
ROE (%)		4.0	—	—	5.8	
DOE (%)		3.3	4.1	4.0	2.0	
配当利回り (%) ※		6.1	5.9	5.5	3.4	

※各年度末の終値で算出

# Mission/Vision ・ 経営戦略

# Mission 存在する目的

## 世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

# Vision 目指す姿

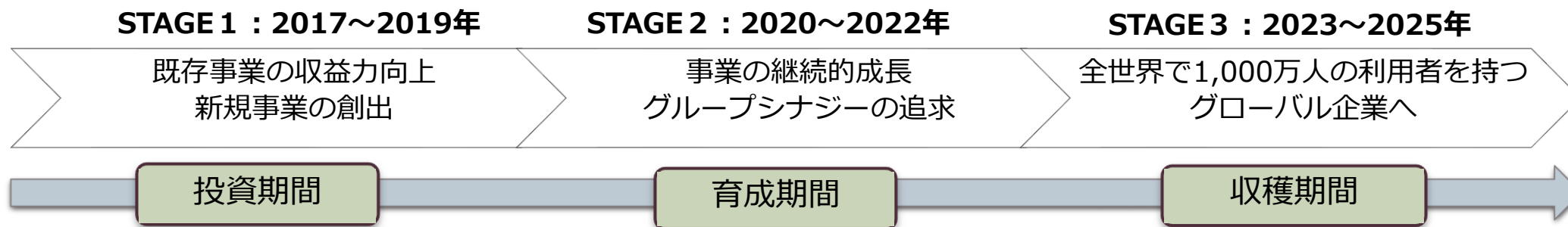
## 2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ

## 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。



# ビジョン達成に向けた経営戦略



## 経営戦略 (STAGE1 : 2017~2019年)

### ① 既存事業の収益力向上

- ・ 独自の付加価値サービスの提供力強化 (テクノロジーを活用した自動売買ソリューション)
- ・ 高い収益性、成長が見込める事業への優先投資
- ・ システム統合、内製化等によるコスト構造改革

### ② 新規事業の創出

- ・ 新たなビジネス領域への進出、FX事業に次ぐ第2・第3の収益の柱を創る
- ・ 人々のお金に関する課題解決を軸とした事業模索
- ・ VCファンド出資を通じたM&A、事業提携等

### ③ その他

- ・ 企業ブランドの構築
- ・ グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

# 経営戦略の進捗状況（2018.7-9月）

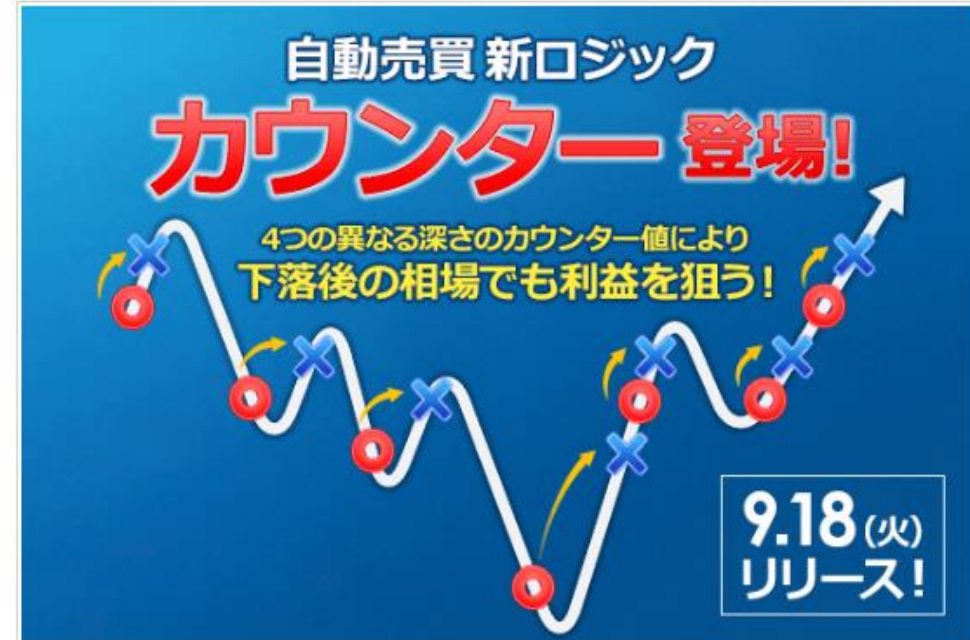
既存事業の収益力向上：取引運用成績向上を目指した付加価値サービスの提供

7/14 自動売買セレクト バージョンアップ（ETF×FX 自動売買ポートフォリオ作成が可能に）

⇒異なる値動きをする資産を組み合わせることで、ETF停滞時にFXの値動きで利益の機会を得ることが可能

9/18 ETF自動売買に新ロジック「カウンター」追加

⇒相場が反転後した下落相場でも取引を停滞させることなく、下落後の相場の戻りを狙った取引を行う



# 経営戦略の進捗状況（2018.7-9月）

## 新規事業の創出：不動産プロジェクトファイナンス事業への参入

### 7/31 光陽ファイナンス株式会社の全株式を取得し、子会社化

⇒不動産業者向けプロジェクト・ファイナンス（不動産業者が土地・建物を購入する際の仕入れ資金の融資を行う）を中心に不動産担保ローン／中小企業向け金融分野で長年の実績を有する同社を子会社化

### 10/1 当社グループとしての位置付けを明確にし、今後の事業内容の拡大ならびにグローバル展開を実現する意味を込め、「INVAST キャピタル マネジメント株式会社」に商号変更

⇒FXやCFDのトレーディング収益とは全く異なるストック型の収益源を確保  
また、同社の手がける不動産担保ローンプロジェクトに対するオンラインクラウド／ソーシャルファンディング事業の検討を開始する等、当社のオンラインサービスと結びつけることで、ビジョン達成に寄与する新規事業の創出を目指す

#### 会社概要

商号	INVAST キャピタルマネジメント株式会社
所在地	東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 高田 幹生
事業内容	貸金業（不動産業者向けファイナンス、中小企業向け事業資金ファイナンス等）
資本金	1億9,000万円

## インヴァスト証券の会社概要 (2018年9月30日現在)

■ 会社名	:	インヴァスト証券株式会社 (INVAST SECURITIES CO.,LTD.)
■ 所在地	:	東京都港区西新橋一丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル
■ 設立年月日	:	1960年8月10日
■ 資本金	:	59億6,508万円
■ 上場取引所	:	JASDAQ市場 2006年3月6日 証券コード : 8709
■ 代表者	:	代表取締役社長 川路 猛 (かわじ たけし)
■ 主要な事業	:	金融商品取引業 (第1種/第2種/投資助言業) 関東財務局長 (金商) 第26号
■ 加入取引所	:	東京金融取引所

- 本資料に掲載されている情報は、当社グループの事業の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。
- 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。
- 掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。